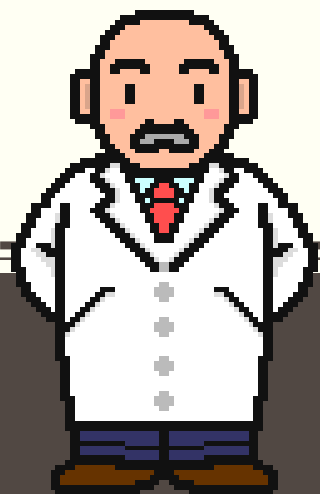


5分でなるほど納得！ ミニ研修スライド

若年の先生方へ その2！

「あの動画の先生の方が分かりやすい！」

にどう対応しますか？



はじめに

このスライドを開いてくれてありがとうございます。早速始めます。

今やユーチューブ動画やZOOMによるオンライン講座など、超有名講師から、お笑い芸人の小島よしおさんまで、ありとあらゆる学習動画があふれています。

あるニュースで、お笑い芸人のオンライン算数授業を受けた小学生が、**「学校の授業より楽しい！！」**なんて腹が立つことを言っていました。

(確かに、彼の動画は子供目線の楽しく分かりやすい内容でした…)

はじめに

若い先生方、有名講師に勝てる授業ができますか？

小学生の先生方は、いろんな教科の授業を担当しています。

その道のプロに負けない授業を日々、考える時間がありますか？

では、「あの動画の先生の方が分かりやすい！」

という子たちに対して、どう返しますか？

…有名講師に勝てる「分かりやすい」授業ができなくても、先生方にはその人たちにできないことがあります。

★ 直接関わる強みを生かす！

それは、一人一人に応じて

「子供たちに、さらに『やる気』を起こさせる！」

「励まして、『自信』を持たせる！」

「もっとやりたい！と思うことを一緒に見つける！」

ことです。

…このようなことは、「オンライン」では十分にできません。

このような気持ちを持たせることができるのが先生方の強みです。

では、そのために先生方は何をすればいいでしょう。

★やる気を引き出し、評価し、自信を付ける

それは、授業の中で、子供たちにどんな関わりをすればいいか、
どんな声かけをすればいいかを考えることです。

この先、直接教える先生の**役割**は大きく変わります。

私が考えるその役割は、上手に教えること以上に、（当然、それも大事ですが…）

やる気を高めること、

適切に評価（声かけ）すること

自信を持たせること

だと考えます。

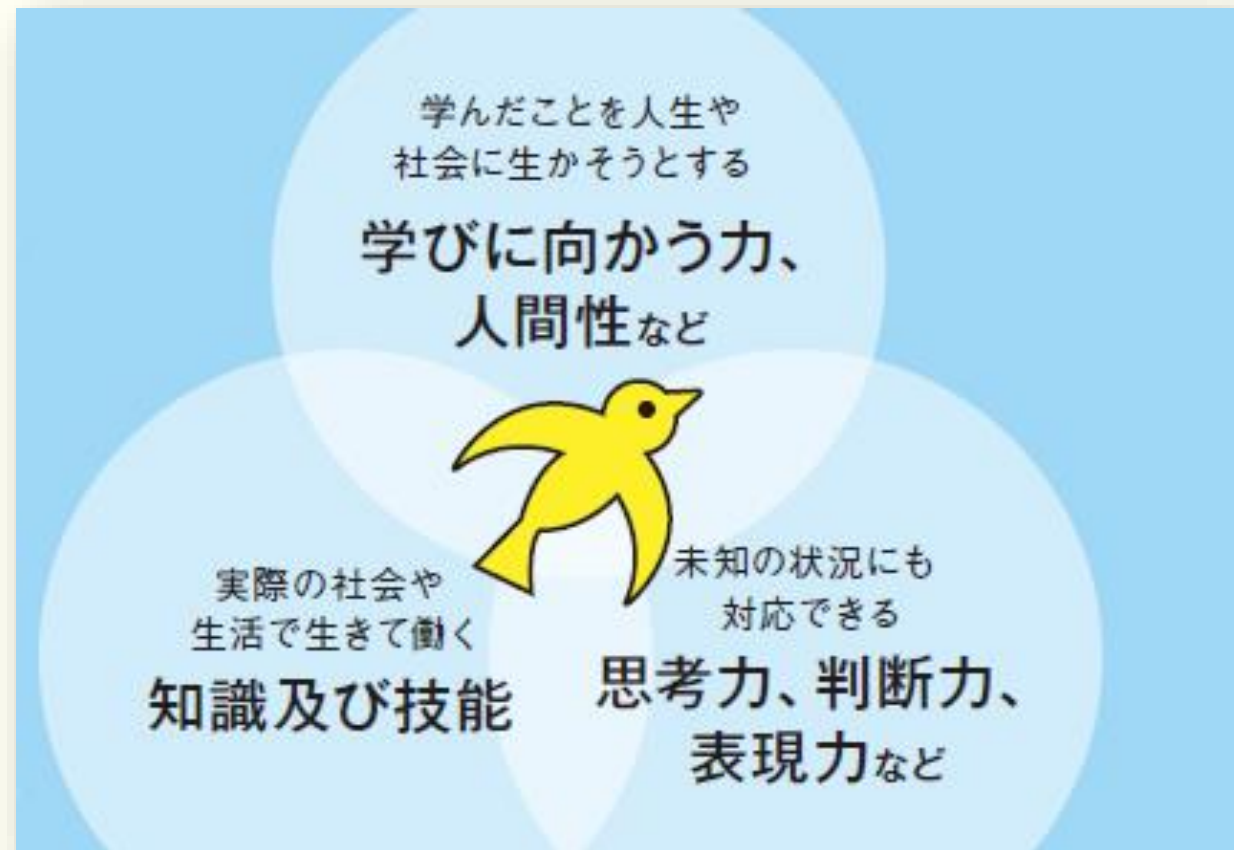
★やる気を引き出し、評価し、自信を付ける

このような子供たちに付けたい資質・能力の図をよく見ると思いますが、
図の下の2つ「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」

は動画で身に付けることができても、
上にある（ということが一番大事？）

「学びに向かう力、人間性」

…これは、



★やる気を引き出し、評価し、自信を付ける

直接子供たちと向き合う先生方だからこそ付けることができる力です。
自分自身を振り返っても、実感できると思います。

自信がもてたのはなぜ？ やる気が出たのはなぜ？

自分のやる気を引き出し、声をかけてくれる担任の先生、
教科担当の先生がいたからではないでしょうか！

動画に登場する「先生方」の役割と、私たちの役割は違う！

お互い協力して子供に力を付けていけばいいと考えます。

※「おもしろい動画」を学級でみんなで見てから、学びを発展させることもできます！利用しましょう。

★やる気を引き出し、評価し、自信を付ける

そもそも動画を見て、「分かりやすい」「おもしろい」と思っている子は一部の子で、動画で学ぼうという意欲がある子です。私たちが、まず一番に大事にしたい子供は、あまりやる気が出ない子供です。そんな子供に、**目の前にいる先生が**
「この学びを通して、こんな力が付いたらいいね。」
「こんな時に役立つ学習ですね。一緒にがんばりましょう！」
「これ、みんなで考えたくない？」
と言ったら、どうでしょう？

☆ さらに、やる気を引き出す

「確かに、そんな力が必要かもしれない」

「必要でなくても、みんなで考えたらおもしろそう！」と、関わり方次第で、やる気を出してくれるかもしれません。

また、やる気を持っている子供は、さらにやる気を出すかもしれません。

さらに、目の前の一人一人の学びに対して、適切に価値付けしたり、褒めたりすることで、自信を付けたり、新たな課題を見付けさせたりすることもできます。

これが、私たち、子供を目の前にした「先生」の役割ではありませんか？ 9

おわりに…

私たちの役割は、（教えることは当然大事ですが、）

「上手に教える」こと以上に、

「学ぶ楽しさに気付かせる」

「学ぶことの意義に気付かせる」ことが大事になる！

…教える というより 気付かせる ことが大事になる

と思います。